

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
運動器・下肢											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	青木 伊之			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
外傷を学ぶ上で欠かすことのできない運動器の基礎（下肢の骨、筋、関節）の学びを通じ、運動器を詳細に知ることが柔道整復師の業務の根幹であることを理解するのがねらいである。具体的には、運動器・下肢について、各器官の名称、位置、神経支配を正しく述べ、個々の骨、筋、関節の形状と構造、それらによって作られる下肢の全体構造とそれらの立体的な構成について機能に関連付けて理解する。											
到達目標											
柔道整復師として必要なレベルでの、下肢の各々の骨格、筋の構造とその三次元的イメージの構築、骨と骨との連結（関節）の構造と機能、それらが構成する下肢の全体構造とそれらの立体的な構成を説明できるようになることと、骨格筋の起始、停止、支配神経および作用を理解し、各器官を機能と関連づけながら統合的かつ三次元的に説明できるようになることを到達目標とする。											
授業方法											
プリントと模型を用いる。下肢の運動器について、骨構造、骨格筋の配置、起始、停止、支配神経、作用を正確に理解し、関節がどのような構造を持ちどのような作用があるのかを模型を用いながら具体的に理解するよう、授業を進める。併せて骨格筋の支配神経、関節機能の調節機構について理解を深める。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
柔道整復師の仕事の根幹を成す知識なので、丁寧に且つしつこく、理解出来るまで反復することが必要である。また、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
医歯薬出版 解剖学 改訂第2版－社団法人全国柔道整復学校協会 監修－に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	下肢の骨										
第2回	骨盤										
第3回	大腿骨、膝蓋骨										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
運動器・下肢	
第4回	脛骨、腓骨
第5回	足根骨、中足骨、指骨
第6回	内寛骨筋
第7回	外寛骨筋
第8回	大腿の伸筋□屈筋
第9回	大腿の内転筋
第10回	下腿の筋
第11回	足の筋
第12回	股関節
第13回	膝関節
第14回	足の関節
第15回	運動器・下肢のまとめ